令和8年　業種別労働災害発生状況

（令和8年10月末現在）　　旭川労働基準監督署

区分 / 業種別		令和8年			前年同期			対前年		業種割合	令和7年(確定)		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	(%)	死亡	休業	合計
全産業合計		3	420	423	2	467	469	-46	-9.8	100.0	2	658	660
製造業			62	62		68	68	-6	-8.8	14.7		95	95
内訳	食料品		25	25		29	29	-4	-13.8	5.9		46	46
内訳	木材・家具装備品		13	13		10	10	3	30.0	3.1		12	12
内訳	紙・パルプ		1	1		1	1		±0	0.2		2	2
内訳	窯業・土石		3	3		3	3		±0	0.7		3	3
内訳	金属・機械		8	8		8	8		±0	1.9		10	10
内訳	その他		12	12		17	17	-5	-29.4	2.8		22	22
土石採取業						2	2	-2	-100.0			3	3
建設業		1	47	48		58	58	-10	-17.2	11.3		76	76
内訳	土木工事業		10	10		32	32	-22	-68.8	2.4		39	39
内訳	建築工事業	1	24	25		19	19	6	31.6	5.9		28	28
内訳	木造建築業		8	8		5	5	3	60.0	1.9		7	7
内訳	その他		5	5		2	2	3	150.0	1.2		2	2
道路貨物運送業			44	44		51	51	-7	-13.7	10.4		69	69
その他の運輸業			11	11		9	9	2	22.2	2.6		12	12
陸上貨物運送事業			1	1				1		0.2			
林業			2	2		5	5	-3	-60.0	0.5		5	5
卸売・小売業			62	62	1	61	62		±0	14.7	1	87	88
清掃業			24	24		30	30	-6	-20.0	5.7		42	42
その他の事業		2	167	169	1	183	184	-15	-8.2	40.0	1	269	270
内訳	農業・畜産業		14	14		20	20	-6	-30.0	3.3		28	28
内訳	社会福祉施設		52	52		69	69	-17	-24.6	12.3		88	88
内訳	その他	2	101	103	1	94	95	8	8.4	24.3	1	153	154

※　本統計は、労働者死傷病報告書（休業４日以上）により集計したもの。
管轄は旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、幌加内町、富良野市
上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の２市、１２町、１村です。

〈今月のコメント〉

・令和8年9月、乗用芝刈機を用いた作業中に死亡災害が発生しています。

各作業について、危険性等の調査を実施し、危険性等が高い作業を優先に設備改善にかかる低減措置を講じる等、リスクアセスメントの取組を実施し、労働災害防止に努めてください。

・建設工事追い込み期労働災害防止運動期間中です。（10/1～12/31）

墜落・転落災害、重機等災害、崩壊・倒壊災害、交通労働災害、急性中毒、火災を重点とした取り組みをお願いいたします。

・毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ

週40時間を超える時間外・休日労働時間が概ね月45時間を超えて長くなれば長くなるほど健康障害のリスクが高まるとされています。時間外・休日労働時間の削減、職場における健康管理やメンタルヘルス対策及び職場のハラスメント防止等に取り組みましょう。

〈死亡災害ゼロ継続日数〉
（令和8年10月末現在）

・製造業　1年10か月
・建設業　1か月
・運送業　5年3か月
・林業　3年3か月
・農業　4年5か月

令和８年　業種別労働災害発生状況

（令和8年10月末現在）　　旭川労働基準監督署

No.	発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害発生概況
1	6	16	旅館業	はさまれ、巻き込まれ	その他一般動力機械	被災者は、乗用芝刈機を使用し、芝刈作業を行っていたところ、乗用芝刈機の左前輪とモアユニットとの間に挟まれている状態で発見された。
2	9	11	建設業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	被災者は、足場の組立て作業において、必要な足場材の個数を確認するため、足場５層目から建物の屋根に渡った際、足を滑らせ、約8m下に墜落したもの。なお、保護帽と要求性能墜落制止用器具は着用していなかった。
3	9	6	ゴルフ場	はさまれ、巻き込まれ	乗用型除草用機械	被災者から責任者あてに複数回着信があり、不審に思った責任者がコース内で被災者を探したところ、コースの法面下で乗用芝刈機と立木との間に倒れている被災者を発見したもの。発見時は意識があったものの、搬送先の病院にて死亡した。

※本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。